資料２－２

第 159 回日本ユネスコ国内委員会教育小委員会の報告

１．開催日時：令和８年８月７日（金）10：00～11：10（オンライン開催）

２．主な議論

（１）ユネスコにおける最近の教育分野の動向と今後の取組

第 224 回ユネスコ執行委員会における SDG4 関連議題について、これまでの我が国の支援に関する発言内容を報告するとともに、「教員の地位に関する勧告」改訂の 2027 年採択に向けた検討状況、ポスト 2030 グローバル教育アジェンダ策定に向けたユース参画事業においてユースの声のアンケートが実施されていること、2027 年 1 月に開催予定の ESD に関するユネスコ世界会議の準備状況等について報告。

各委員からは、ポスト 2030 アジェンダ策定に向けて、継続的なユースの参画の必要性について指摘があった。また、「高等教育教員の地位に関する勧告」の改訂について、高等教育の役割が地政学的影響、複雑な国際関係に影響を受ける中、改めて、学問の自由や機関の自律性等に重点を置いた勧告とすることの重要性について意見があった。さらに 2027 年 1 月中旬にケニアで開催予定の ESD 世界会議については、ウェルビーイング等の新たな視点を踏まえながら、日本がこれまで蓄積してきた教育の質の向上に関する知見や実践を積極的に発信していくことが重要であるとの指摘があった。

（２）国内のユネスコ関連教育事業の動向と今後の取組

日本のユネスコ加盟 75 周年記念事業の進捗状況として、５月 20 日に国際連合大学で開催された「日本のユネスコ加盟 75 周年記念フォーラム」、日本ユネスコ国内委員会会長表彰の募集開始、記念動画、記念ポスター及びロゴマークの制作、旅行雑誌『るるぶ』の刊行等の普及啓発事業について報告があった。

また、11 月に開催予定のユネスコスクール全国大会について、ユネスコ登録サイトとユネスコスクールとの連携をテーマとし、国内外の好事例を共有する予定であるとの説明があった。

さらに、文部科学省からの委託事業の一環として金沢大学が実施するユネスコエコパーク及びユネスコ世界ジオパークにおける教材の収集・活用発信に関する調査研究について報告があった。

続く事例発表では、地域ユネスコ協会による教育活動の取組が紹介され、平和・国際理解・持続可能な社会づくりに向けた学びの推進とともに、若者の参画や地域と世界をつなぐユネスコ活動の重要性について発表があった。

各委員からは、訪日外国人旅行者の増加を踏まえ、ユネスコ登録事業等に関する多言語での情報発信の充実の必要性や、ユネスコ世界ジオパーク教材を活用した学習効果への期待が示された。また、優れた教材を全国の学校に広く普及させるための仕組みづくりの必要性について意見があった。

３．配付資料：https://www.mext.go.jp/unesco/002/006/002/001/shiryo/1414099_00028.htm

以　上